

## 単元名 小数

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 小数の大小・系列, 加減計算の仕方を理解し,  $1/10$ の位までの小数の加減計算ができる。  
 (2) 小数の大小・系列, 加減計算を小数の意味に基づいて考えることができる。  
 (3) 小数のよさに気づき, 進んでこれを用いようとする。

## 標準的な展開例

03040302\_001

【準備等】 1 L ます, ポット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ポットに入っている水の量の端数の部分の表し方を考える。[p. 70・p. 71]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポットに入っている水のかさを調べ, あまりの量に着目する。</li> <li>○余りの大きさを分数で表す。</li> <li>○単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★あまりの大きさの, 分数とはべつの表し方を調べよう。</li> <li>○0.1 Lの読み方, 小数・小数点・<math>1/10</math>の位・整数について知る。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>2 端数の長さやかさを小数で表す。[p. 72・p. 73]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★あまりの大きさを, 小数を使って表そう。</li> <li>○テープの長さを小数で表す。</li> <li>○1.2 LをLとdLで表す問題に取り組む。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> <li>○身の回りで使われている小数を探す。</li> </ul> <p>3 小数の大きさを, 0.1を基にして考える。[p. 74・p. 75]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★小数について, いろいろな見方をしてみよう。</li> <li>○2.3は1を何個と0.1を何個合わせた数なのかを考える。</li> <li>○0.1を何個集めると2.3になるかを考える。</li> <li>○0.7や1.5を数直線上に表す問題に取り組む。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>4 小数と分数の大きさを比べ方を考える。[p. 76]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★小数と分数の大きさの比べ方を考えよう。</li> <li>○0.2と<math>4/10</math>では, <math>4/10</math>の方が大きいことを説明する。</li> <li>○小数と分数の大きさの関係性を知る。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>5 小数の加法の計算の仕方を考える。[p. 77]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★小数のたし算のしかたを考えよう。</li> <li>○<math>0.6+0.2</math>の計算の仕方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や図を活用して, 視覚的に量が捉えやすいように配慮する。</li> <li>・ポットにあらかじめ2.3 Lの水を入れて準備をしておく。教師実験で1 L ますの中に0.3 Lの水を入れる場合には, 色水を入れると, 後方の児童にとっても見やすくなる。</li> <li>・p. 118の「じゅんぴ」の問題を活用するとよい。</li> <li>・<math>3/10</math> Lを分数以外で表す方法を考えさせる。</li> <li>・0.1 Lも<math>1/10</math> Lも, 1 Lを10等分した1 つ分であることを確認させる。</li> <li>・2 Lと0.3 Lで2.3 Lになることや0.1, 0.3, 2.3のような数が小数であることを知らせる。</li> <li>・「0.1 Lが2 つ分?」などのように問いかけ, 児童に予想させるとよい。</li> <li>【評】 かさを小数で表す活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> <li>・1 mmは1 cmを何等分しているものかを考えさせ, <math>1\text{ mm}=0.1\text{ cm}</math>の関係を確かめる。また, 小数を用いて, 複名数表記が単名数表記で簡潔に表現できることのよさに気付かせる。</li> <li>・5 cmと4 mmに分けて考えさせ, 5 cmと0.4 cmで5.4 cmになることに気付かせる。</li> <li>・0.1 L = 1 dLを基に0.2 Lが2 dLであることを図を利用しながら理解させる。</li> <li>・0.1 L = 1 dL, <math>0.1\text{ cm}=1\text{ mm}</math>を基準に, 単位換算の問題に取り組ませる。</li> <li>【評】 単位換算の問題に取り組む活動を通して「知識・技能」を評価する。</li> <li>・数直線を利用して視覚的に支援をする。</li> <li>・分数の単元を振り返らせ, 単位分数のいくつ分という考え方を確認する。</li> <li>・数直線を提示し, 1 目盛りが0.1であることを押さえる。</li> <li>・まず1は0.1の10個分であることを押さえ, 次に2.3は0.1の何個分かを考えさせる。</li> <li>・数直線は右にいくほど, 数が大きくなることに気付かせる。</li> <li>【評】 小数の大きさに関する問題を解く活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> <li>・小数と分数の大きさを数直線を利用して比べさせる。</li> <li>・数直線を利用して説明させてもよい。</li> <li>・数直線を提示し, 視覚的に支援をする。</li> <li>・2 数を小数か分数のどちらか一方にそろえるか, または, 同一数直線上に表すことで比較できることに気付かせる。</li> <li>【評】 小数と分数の大小関係を比較する活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・0.1を単位にその個数を考えると, 既習の整数の加法計算と同様に扱えることに気付かせる。</li> <li>・図などを提示し, 題意を把握させてから式を立てさせる。</li> <li>・線分図を基に, 0.1が8 個あることに気付かせる。0.6 Lの水と0.2 Lの水を入れて0.8 L</li> </ul>

<p>○ <math>0.6+0.5</math>, <math>1.8+0.7</math> の計算をする。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>6 小数の減法の筆算の仕方を考える。[p. 78]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 小数のひき算のしかたを考えよう。 ○ <math>0.8-0.2</math> の計算の仕方を考える。</p> <p>○ <math>1.2-0.3</math>, <math>2.1-0.4</math> の計算をする。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>7 小数の筆算の仕方を考える。[p. 79]</p> <p>○ <math>5.7+3.2</math> の計算の仕方を考える。</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 小数の計算を筆算でしてみよう。 ○ 小数の筆算の仕方を確認する。</p> <p>○ 道のりの違いを筆算で求める。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>8 問題や答えに空位がある加法・減法の筆算の仕方を考える。[p. 80]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ いろいろな小数の筆算のしかたを考えよう。 ○ <math>7+5.5</math>, <math>1.2+2.8</math>, <math>5-2.7</math>, <math>3.6-2.8</math> を筆算で計算する。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>○ □ に数を当てはめて、小数のたし算やひき算を作る。</p> <p>9 練習問題に取り組む。[p. 81]</p> <p>○ 「練習」に取り組む。</p> <p>10 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 82・p. 83]</p> <p>○ 「たしかめよう」に取り組む。</p> <p>○ 学習の振り返りを書く。</p>	<p>になる場面を視覚的に提示すると分かりやすい。</p> <p>【評】 小数の仕組みを使って計算の仕方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 よりも大きい計算になっても0.1がいくつかを考えればよいことに気付かせる。</li> <li>・ 計算するだけでなく、0.1いくつ分であるかを説明させながら解くとよい。</li> <li>・ 0.1を単位にその個数を考えると、既習の整数の減法計算と同様に扱えることに気付かせる。</li> <li>・ ひき算でもたし算と同様に0.1いくつ分で考えればよいことに気付かせる。</li> <li>・ 線分図を基に、ジュースは0.1が8個あること、飲んだ量は0.1が2個であることに気付かせる。</li> <li>・ ひかれる数が1 よりも大きい計算になっても0.1がいくつ分かを考えればよいことに気付かせる。</li> <li>・ ひかれる数が1 の場合は、0.1が10個分として考えることを確認する。</li> </ul> <p>【評】 小数の減法を解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までの学習を基に、位ごとに分けたり、0.1がいくつ分であるかを考えたりすればよいことを確認する。</li> <li>・ 「筆算のしかた」を基に、位をそろえることや、小数点を打つことなどについて押さえる</li> <li>・ たし算の時と同様に筆算すればよいことに気付かせる。</li> <li>・ 位をそろえることや、小数点の付け忘れに注意させる。</li> </ul> <p>【評】 小数の加法や減法を筆算で解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和が4.0の時に0に斜線を書くことや、<math>5=5.0</math>と考えること、答えが1未満の時は1の位の0を付け忘れないように注意させる。</li> <li>・ 筆算の仕方を再度確認し、つまずきがないよう配慮する。</li> </ul> <p>【評】 小数の加法や減法を筆算で解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導を中心に、定着を図る。</li> <li>・ 単位、小数の仕組みや加減計算、筆算についての練習問題に取り組ませる。</li> </ul> <p>【評】 「練習」に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</li> <li>・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。</li> </ul> <p>【評】 問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小数について分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。</li> </ul>
--	--

【 備 考 】  
 小数の捉え方として、基準(1)を10等分したうちのいくつ分として捉えさせる。児童はこの考え方を分数の学習でも経験している。そのため、小数と分数の大小の比較では、その時のことを想起させながら、同一数直線上に表すなどして分数と小数を比較させて考えさせるとよい。